19 陳情 第34号	高田馬場第一保育園の民営化における事業者選定と移行に関する 陳情
付託委員会	福祉健康委員会
受理及び付託 年 月 日	平成19年11月29日受理、平成19年12月3日付託
陳情者	新宿区上落合 _____ _____

(要 旨)

- 1 区民や保護者の理解と納得が得られるよう、透明度の高い事業者選定が行われるようにして下さい。
- 2 移行が子ども達に与える混乱を最小限にするため、高田馬場第一保育園で培われた保育が民間事業者に継承されるよう指導して下さい。
- 3 先行民営園の保育の質の検証、公立保育園全体の保育の質の検証が、区の責任において行われるようお願いします。

(理 由)

- 1 先行する区内保育園の民営化では、事業者選定理由や、選考過程における保護者の意見がどのように反映されたのか明らかにされませんでした。今回は、区民や保護者の理解と納得が得られるよう、事業者選定理由と、高田馬場第一保育園以上の水準の保育を行う資質があるかどうかをどのように判断したのか、保護者に開示して頂くようお願いします。また選定過程における保護者の意見がどのように反映されたのか、明らかにしてください。
- 2 慣れ親しんだ保育士が一斉に入れ替わり、園舎も同時に変わることで、民営化が子ども達の心に与える負担は大きく、保護者としては大変不安です。大阪府大東市の市立保育園の廃止・民営化を巡る訴訟でも、混乱が生じたことによる損害が認められ、市に賠償を命ずる判決が確定したところです。子どもへの負担を最小限とするため、区内先行民営園のような急激な移行、あるいは法人の保育に近づける形での移行は避け、高田馬場第一保育園の保育が事業者に継承されるよう指導してください。その実現のために必要な経費があれば、区が手当てするようお願いします。
- 3 「民営化したら保育の質は下がらない。むしろ上がる」と保護者懇談会で区から説明を受けてきましたが、保護者に目に見える形で実証されていません。先行民営園保護者が、公立保育園と比較してどのような点を評価しているのか、逆に評価しない点はあるのか、明らかにして頂きたいと思います。保育の質の検証を行って民営化しても保育の質は下がらないということを実証し、保護者の不安を解消して頂くようお願いいたします。

官と民とが切磋琢磨して区の保育水準を上げるという構想を伺っていますが、公立保育園全体についても、民営化が始まって数年たった今、どのようにレベルアップしたのか明らかにして下さい。